

新年のご挨拶

大阪府信用金庫健康保険組合

理事長 須戸 裕治



あけましておめでとうございます

組合員ならびにご家族の皆さまにおかれましては、清々しい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃より当健康保険組合の事業運営につきまして多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和4年から団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり始め、今年で約800万人すべてが75歳に到達します。今後、高齢者医療への拠出金がさらに増え続けることが予想され、支え手となる現役世代も減少することから、国民皆保険制度の持続性を確保するためにも、全世代が能力に応じて支え合う全世代型社会保障制度の早急な構築が不可欠です。

昨年12月2日に保険証の新規発行が終了し、マイナ保険証を基本とした仕組みに移行しました。マイナ保険証は医療DXの基盤となるもので、各種情報連携による質の高い医療の提供などが期待されます。世界に先駆けて超高齢社会に直面するわが国において社会保障制度を維持するためには、医療DX

の推進が欠かせません。引き続きマイナ保険証の利用促進に是非ともご協力をお願いいたします。

また、わが国では、社会全体で子育てを支えるという理念のもと「子ども子育て支援金制度」を創設し、子育て世帯への支援が順次拡充されます。その財源の一部として子ども子育て支援金が令和8年度から健康保険料に上乗せして徴収されますが、今後、支援金率等の詳細などが示され次第組合員の皆さまにお知らせします。

当健康保険組合ではこうしたさまざまな変化に対応しながら、生活習慣病をはじめとする疾病の発症・重症化予防に重点をおき、データを活用した保健事業をさらに推進してまいります。皆さまにおかれましては、健康診断の受診やジェネリック医薬品・リフィル処方箋のご利用とともに、当健康保険組合が実施する各種健康づくり事業を積極的にご活用いただき、医療費節減にご協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとって希望に満ちた一年となりますことをご祈念申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。